

令和8年度（2026年度）第1回鎌倉市図書館協議会議事日程

令和8年5月26日（火） 午前10時～

鎌倉市中央図書館3階多目的室

1 議 事

（1） 報告事項

- ア 令和8年度（2026年度）予算について
- イ 令和8年度（2026年度）図書館重点事業について
- ウ 第5次鎌倉市図書館サービス計画及び子ども読書活動推進計画のアクションプランについて
- エ 令和7年度（2025年度）統計速報について
- オ 中央図書館トイレ改修修繕について

（2） 協議事項

- ア 図書館の施設整備について

（3） その他

2 資 料

- （1） 令和8年度（2026年度）図書館事業予算について
- （2） 令和7年度（2025年度）の重点事業とその成果
- （3） 令和8年度（2026年度）の重点事業
- （4） 第5次鎌倉市図書館サービス計画アクションプラン
- （5） 第5次鎌倉市子ども読書活動推進計画アクションプラン
- （6） 鎌倉市図書館 基本統計表 令和7年度(2025年度)
- （7） 図書館の今後の蔵書数の想定

令和8年度(2026年度)鎌倉市図書館事業予算

図書館費		令和7年度	令和8年度	増減額	(単位:千円)
		99,648	189,292	89,644	
報酬		168	168	0	図書館協議会委員報酬
報償費		163	213	50	資料提供者謝礼など 研修講師、手話通訳の謝礼
旅費		40	61	21	会計年度任用職員の交通費
需用費		46,338	127,758	81,420	
	消耗品費	33,833	31,566	-2,267	東アジア文化都市連携事業終了による減 物価高騰分増額など
	(うち資料費)	(27,258)	(27,530)	272	資料費:本・雑誌・新聞・視聴覚資料の購入費
	燃料費	35	34	-1	公用車のガソリン代
	印刷製本費	116	397	281	バーコードラベル作成
	光熱水費	7,310	6,637	-673	電気料、上下水道料
	維持修繕料	4,647	88,923	84,276	中央図書館の各種修繕 トイレ修繕(64,765)、屋上防水修繕(17,460)など
	備品修繕料	165	110	-55	備品修繕
	車両修繕料	232	91	-141	車両修繕費、点検費など
役務費		4,331	4,241	-90	
	電信料	2,491	2,389	-102	Wi-Fiなど
	運搬料	201	225	24	県との連絡便
	手数料	1,616	1,603	-13	建物の維持管理にかかわる各種機械類の点検など
	保険料	23	24	1	中央図書館の建物の保険
委託料		17,157	25,309	8,152	設備等保守管理、清掃業務、施設管理の保守点検 巡回搬送業務など 『安田写真』整理保存デジタル化事業(基金活用事 業)(5,020)、総合管理業務更新(+2,792)など
使用料及び賃借料		26,267	26,712	445	データベース使用料・新刊マークなど 朝日新聞クロスサーチ・フォーライブラリー(423)な ど
工事請負費				0	
備品購入費		1,343	812	-531	音声拡大読書器、返却用ブックポスト
負担金補助及び交付金		110	110	0	日本図書館協会、神奈川県図書館協会の分担金
積立金		3,724	3,908	184	図書館振興基金、ふるさと寄附金など
公課費		7	0	-7	自動車重量税

総務費 文書広報費 市史編さん事業	70	196	126	歴史的資料(公文書)の保存等に係る消耗品な ど。 令和8年度は、市史編纂事業にかかわる報償 費などを新規で要求を行っている。 一部、近代史資料担当に関連する部分を図書 館管理運営事業に移管。
----------------------	----	-----	-----	--

令和7年度（2025年度）第4次鎌倉市図書館サービス計画の重点事業内容とその成果

目標1 利用者にとって魅力ある図書館

重点事業 市民や鎌倉に関わる人にとって魅力ある蔵書づくり

1 鎌倉市図書館にふさわしい蔵書構築の検討

(1)現在の蔵書構成及び出版状況を比較分析し、鎌倉市にふさわしい蔵書構築を検討します。

2 資料と利用者のニーズを熟知した職員の育成

(3) 資料と利用者のニーズを熟知した職員が継続してサービスを提供できるよう、必要な職員が配置される体制作りを目指します。

【成果】

- ・現在の蔵書構成及び出版状況を比較分析し、鎌倉市にふさわしい蔵書構築の検討を始めました。
- ・司書（技術職職員）への転任試験が行われ、二名が転任し配置されました。

目標2 誰もが使いやすい図書館

重点事業 図書館を利用しづらい人へのサービスの拡充

1 一人ひとりに合わせた資料の提供とその周知

(1)大活字本、朗読CD、デージー図書、LLブック、マルチメディアデージー等の充実と利用促進をはかります。

(2)多言語資料の収集に努めます。

【成果】

- ・継続的に大活字本やLLブック等を収集しました。
- ・東アジア文化都市事業に取り組み、東アジア（中国・韓国・香港・台湾）の資料を積極的に収集しました。

目標3 未来につながる図書館

重点事業 利用者のニーズに応じた新しい図書館づくり

1 新深沢図書館の機能の実現に向けた調整

(1)学校との連携、子ども読書活動支援の拠点機能を維持します。

(5)深沢地域の特色ある資料の収集・保存・活用を継続します。

2 新中央図書館の機能の検討と計画への反映

(3)多様なニーズに応えられる空間の設定（ゾーニング）を検討します。

【成果】

- ・ゆいの森あらかわ、おにクルぶっくぱーく、藤沢市村岡市民センターへ視察に赴くなど、情報収集に努めました。

令和 8 年度（2026 年度）第 5 次鎌倉市図書館サービス計画の重点事業内容

重点取組 1 読書バリアフリーサービスの充実

- 具体的な取組
- 1 だれもが利用しやすいバリアフリー資料を充実する
 - 2 障害のある方それぞれのニーズに合わせたサービスを検討し拡充する
 - 3 図書館を利用しづらい環境にある利用者へのサービスの PR を強化する
 - 4 読書バリアフリーサービスに精通した人材を育成する

- 1（1）大活字本、点字図書、LL ブック、朗読 CD を始めとしたバリアフリー資料を毎年継続して購入する。
- 2（1）障害当事者や関係団体へのニーズの調査を行う。
- 3（1）やさしい日本語や活字の大きな案内を作成
- 4（1）読書バリアフリーについて研修を受講する。

重点取組 2 知識や情報のハブとなるサービスの拡充

- 具体的な取組
- 1 生涯学習や日々の暮らしを支援するため、市民のニーズに合った蔵書を充実させる
 - 2 電子書籍・Wi-Fi の導入、地域資料のデジタルアーカイブ等、デジタル環境の整備により利便性の向上を図る

- 1（2）関係課に呼びかけ、行政資料の網羅的な収集を進める。
- 2（4）鎌倉市図書館が所有している資料のデジタル化を推進し、公開を進める。

重点取組 3 鎌倉の魅力を集積し発信する図書館の実現

- 具体的な取組
- 1 鎌倉の地域資料を収集・保存し、デジタル資料の公開やイベントにより情報を発信する
 - 2 だれもが安心して利用できるよう施設環境を整備する。
 - 3 司書の継続的な採用により技術の伝承を図り、人と情報を結ぶ人材を長期的に育成する。

- 1（3）図書館所有の地域資料のデータ化・デジタル化を進める。
- 2（1）居心地の良い環境を作るため、全館の施設環境を見直し、優先順位を付けて計画的に備品の修繕・買い替えを進める
- 3（2）これまでの知識・技術の蓄積を継承していくため、職員を育成するための計画を推進する。

第 5 次鎌倉市図書館サービス計画アクションプラン

令和 8 年(2026 年)4 月

目次

1 第5次鎌倉市図書館サービス計画アクションプランについて	1
1-1 アクションプランの趣旨	1
1-2 アクションプランの位置づけ	1
1-3 計画期間	1
2 現状と課題	2
2-1 図書館会の近年の動きと鎌倉市図書館	2
2-2 アンケート結果	3
2-3 第4次鎌倉市図書館サービス計画の成果と課題	8
3 第5次鎌倉市図書館サービス計画とアクションプラン	9
3-1 第5次鎌倉市図書館サービス計画の重点取り組み	9
3-2 アクションプラン具体的な取り組み	10
3-3 鎌倉市教育振興基本計画―第5次鎌倉市図書館サービス計画―第5次鎌倉市図書館 サービス計画アクションプラン対照表	16
4 用語解説	17

第 5 次鎌倉市図書館サービス計画アクションプラン

1 第5次鎌倉市図書館サービス計画アクションプランについて

1-1 アクションプランの趣旨

鎌倉市図書館では、図書館ビジョン「つながる・ひろがる・100 年図書館」に基づき市民の読書や研究活動を支援し、市民の一番身近な情報拠点となることを目指し取り組んできました。第4次鎌倉市図書館サービス計画終了にあたり、社会状況の変化や市民のニーズを見据えながら、図書館サービスのさらなる充実に向けて、鎌倉市教育振興基本計画内において第5次鎌倉市図書館サービス計画(以下「第5次計画」という。)を定めたところです。この第5次計画の効率的な推進のため、第5次鎌倉市図書館サービス計画アクションプラン(以下「アクションプラン」という。)を策定します。

1-2 アクションプランの位置づけ

この計画は、図書館法第7条の2に基づく「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」(平成 24 年 12 月 19 日 文部科学省告示第 172 号)のもと、「鎌倉ビジョン 2034」・「鎌倉ミライ共創プラン 2030」を最上位計画とし、「鎌倉市教育大綱」「図書館ビジョン」を踏まえ、「鎌倉市教育振興基本計画」内の第5次計画の効率的な実施を推進する計画として位置づけます。また令和元年6月に施行された「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」(以下「読書バリアフリー法」という。)に基づく「読書バリアフリー計画」の内容を内包して策定します。

1-3 計画期間

令和 8 年(2026 年)4月～令和 12 年(2030 年)3月
第5次計画の期間に準じます。

2 現状と課題

2-1 図書館界の近年の動きと鎌倉市図書館

(1) 読書バリアフリーサービスの強化

令和元年6月、読書バリアフリー法が施行されました。これは、読書環境の整備を進めることにより、障害の有無に関わらずすべての人が利用しやすい形式で読書による文字・活字文化の恩恵を受けられるようにするための法律です。これを受けて図書館界でも読書バリアフリーへの動きが加速しました。また、法律では触れていませんが、図書館を利用しにくい方には、身体的な障害などがある方のみならず、日本語を母語としない方等もいます。今や図書館には情報のセーフティネットとして多様な利用者への格差なき読書環境整備が必要とされています。

(2) デジタル技術の深化と浸透

新型コロナウイルス感染症により、非接触のサービスが求められた結果、図書館界においてもデジタルシフトが一気に進みました。神奈川県下でも2025年4月現在で県と17の市町村が電子書籍サービスを行っています。電子書籍サービスはいまだ人気コンテンツが少ないことや、資料の保存継承ができないなどデメリットはありますが、いつでもどこでも利用できるその便利さから確実に広がっています。

またGIGAスクール構想が前倒しとなり、子どもたちの手元に一人一台のタブレットがいきわたったことでデジタル環境が子どもたちの間にまで浸透しました。鎌倉市図書館でも紙資料とデジタル資料によるハイブリッドな情報活用を重点事業の一つとした「第4次鎌倉市子ども読書活動推進計画」を令和5年(2023年)に策定しています。

特に、鎌倉の地域資料のデジタル化は鎌倉市図書館でしか行えない使命です。地域資料のデジタル化を進め、地域資料を調べやすいプラットフォームづくりが課題です。

(3) 新施設内図書館計画

深沢地域に開庁を計画している新庁舎内の新深沢図書館と、新庁舎開庁後の市庁舎現在地で複合化が予定されている新中央図書館の検討を行っています。新深沢図書館は深沢学習センターと、新中央図書館は鎌倉生涯学習センターとそれぞれ同一の施設に整備される予定です。その際には要望が多かった、本を読んだりゆったり過ごしたりするスペースの確保と、様々なニーズにこたえられる空間の設定(ゾーニング)が実現できるよう留意するとともに、複合化の相乗効果が発揮できるよう検討する必要があります。

2-2 アンケート結果

「こんな図書館あったらいいな」あなたの声を聞かせてください。

(1) 目的

鎌倉市図書館の運営やサービス状況、今後予定されている新しい図書館および電子図書等のニーズを把握し、第5次図書館サービス計画策定の検討材料とする。

(2) 実施期間

令和6年(2024年)11月～12月15日(日)

(3) 調査対象

来館者アンケート)鎌倉市図書館(中央、腰越、深沢、大船、玉縄)の来館利用者

館内でアンケート用紙を配付し、館内・返却ポストで回収。または、図書館ホームページ・LINE でアンケート実施をお知らせし、e-kanagawa 電子申請から web で回答。

郵送アンケート)鎌倉市民 2000 名を無作為抽出し、郵送にてアンケートを発送。アンケート回答を返送するか、アンケート用紙に記載の e-kanagawa 電子申請のリンクから web で回答。

来館者アンケート・郵送アンケートどちらも「通常版」と「やさしい日本語版」を作成し、回答者を選択して回答してもらった。

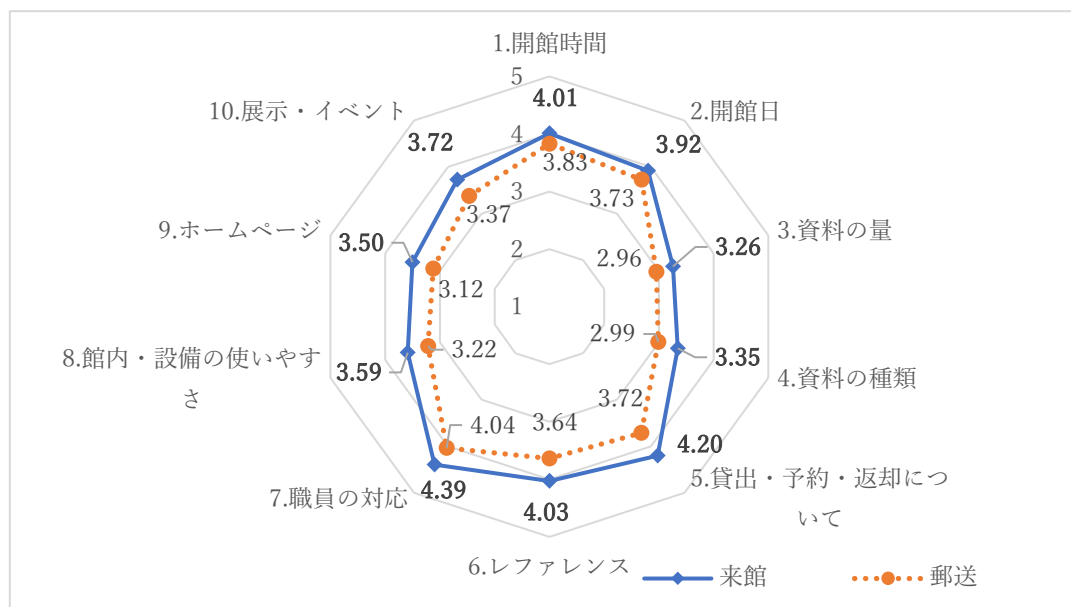
(4) アンケート回収数

来館	館内	Web	回収数
中央	74	36	110
腰越	75	31	106
深沢	4	2	6
大船	69	20	89
玉縄	73	24	97
Web/LINE	0	130	130
総計	295	243	538

郵送	回収数
郵送	565
web	78
総計	643

(5) 調査事項(一部抜粋)

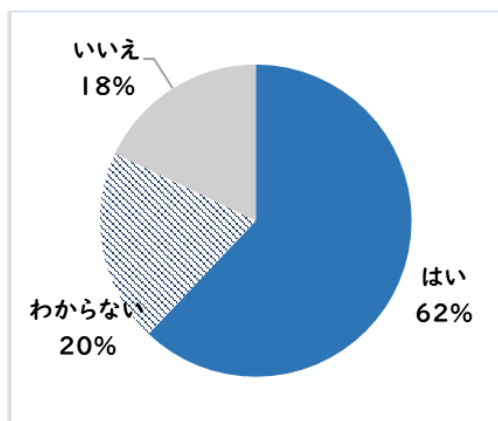
ア 図書館サービスの満足度



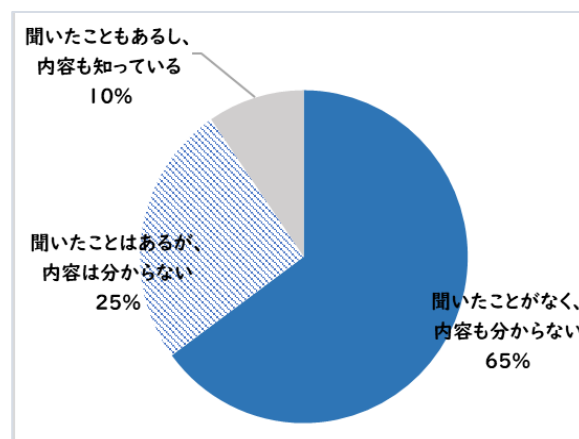
※満足度評点について…アンケート回答の「満足」を 5 点、「やや満足」を 4 点、「ふつう」を 3 点、「やや不満」を 2 点、「不満」を 1 点とし、合計評点数を回答者数(無回答を除く)で除した値である。5 点に近いほど満足度が高く、1 点に近いほど満足度が低いことを表している。

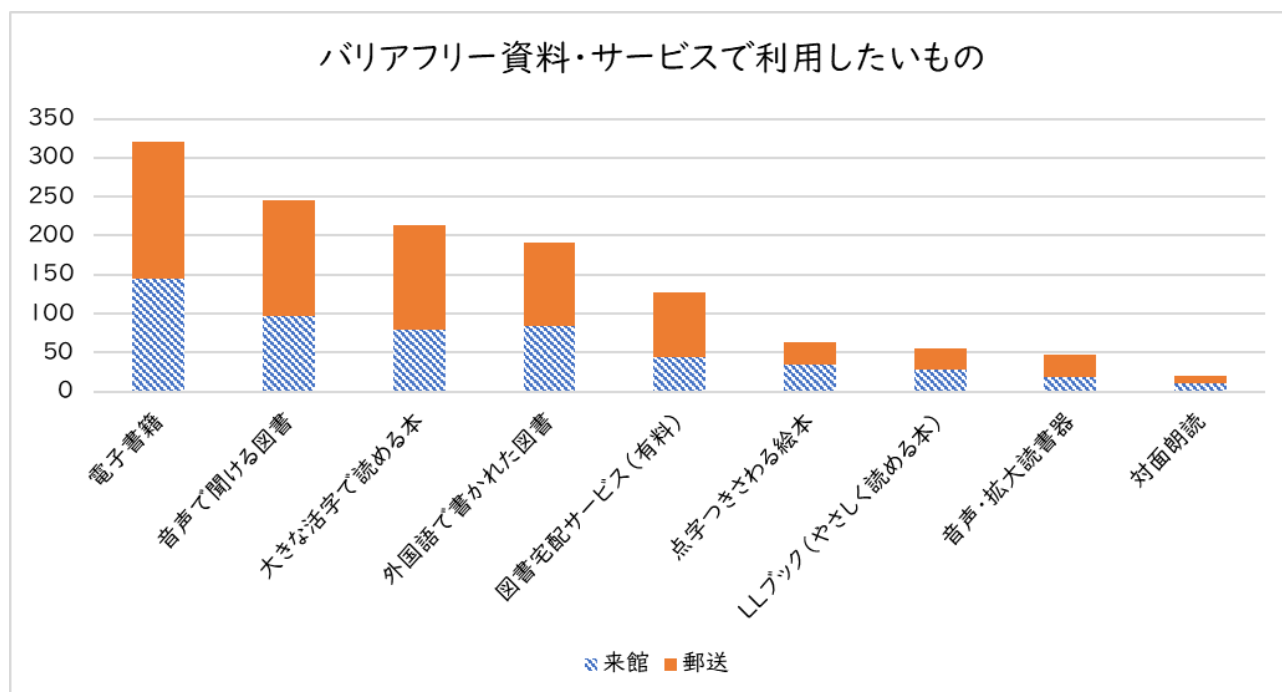
イ 読書バリアフリーについて

「読書バリアフリー」は聞いたことがありますか？
(やさしい日本語版)



「読書バリアフリー法」はご存知ですか？
(通常版)





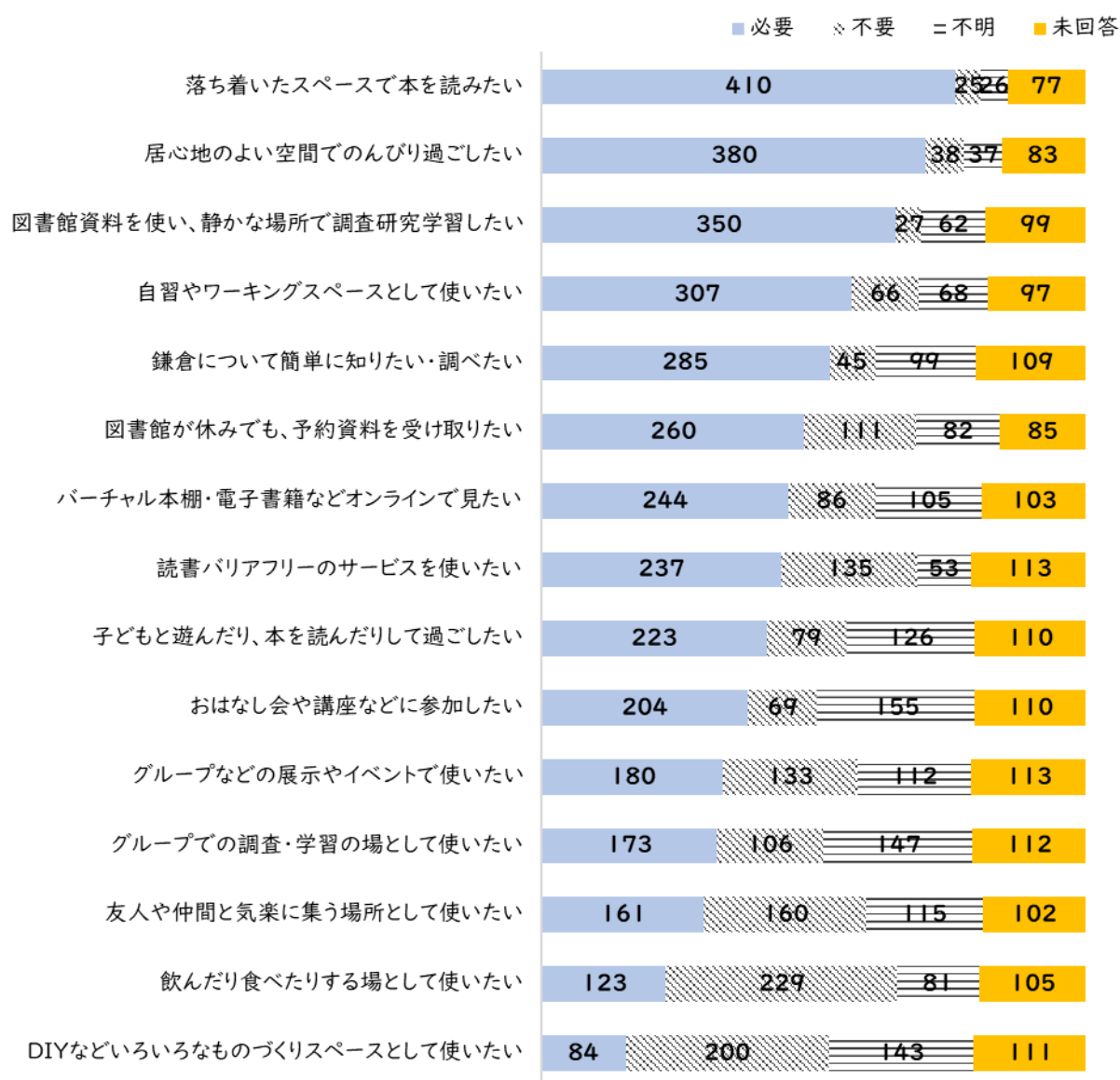
【アンケート調査結果から】

この度の第 5 次計画は、鎌倉市の読書バリアフリー計画も兼ねるため、読書バリアフリーについての設問を設けました。

読書バリアフリー法については 6 割の方が全く知らないと答えています。聞いたことがあるだけで中身は知らない方を含めると 9 割近い方がまだ知らないことがわかります。利用してみたいバリアフリーサービス内容では、電子書籍、音声図書、大活字本と続き、これも広く知られている、あるいは利用したことがあると思われるサービスが上位に来ており、読書バリアフリーサービス全体がまだ周知が進んでいないことがわかります。

ウ 新しい図書館ができたらしたいことは何ですか？

新しい図書館ができたら、やってみたいことは何ですか？（来館）



【アンケート調査結果から】

新しい図書館でやってみたいことの自由記述で目立ったのは、設備・施設についての意見でした。子どもが騒いだり大人がおしゃべりしたりしてもいいスペースが欲しいという声と、静かに落ち着いて過ごすスペース、自習スペースが欲しいという声が同じくらいありました。現時点の図書館ではどちらの利用者も満足していないことがわかり、様々な機能・用途に合わせてフロアを分けるゾーニングを提案する声が多くありました。これについては図書館の考えと合致しています。次に多いのは、カフェ・飲食スペースが欲しいという声です。また、設備面では良い椅子を要望する声が多

く、ゆっくり座りたいというシンプルな希望すら現状ではかなえられていないことがわかります。アクセスに関する声も寄せられ、読書バリアフリーサービスのひとつとして、アウトリーチサービスの充実も必要であることがうかがえます。

サービス面については、満足度アンケートでは比較的満足度が高かったはずの開館日・開館時間についての声が多くありました。20 時、21 時までの開館時間の延長、又は月曜開館などです。開館日、開館時間について満足していない利用者が実は一定層いることがわかります。また、蔵書についての要望も多く、図書館を利用しない理由としても挙げられました。満足度でも、2022 年に行った数値より微増しているものの、依然低い数値となっています。

図書館の場所や、既に実施しているサービスを知らない声もありました。図書館の存在やサービスを市民の方に知っていただくための広報が足りていないことが読み取れます。

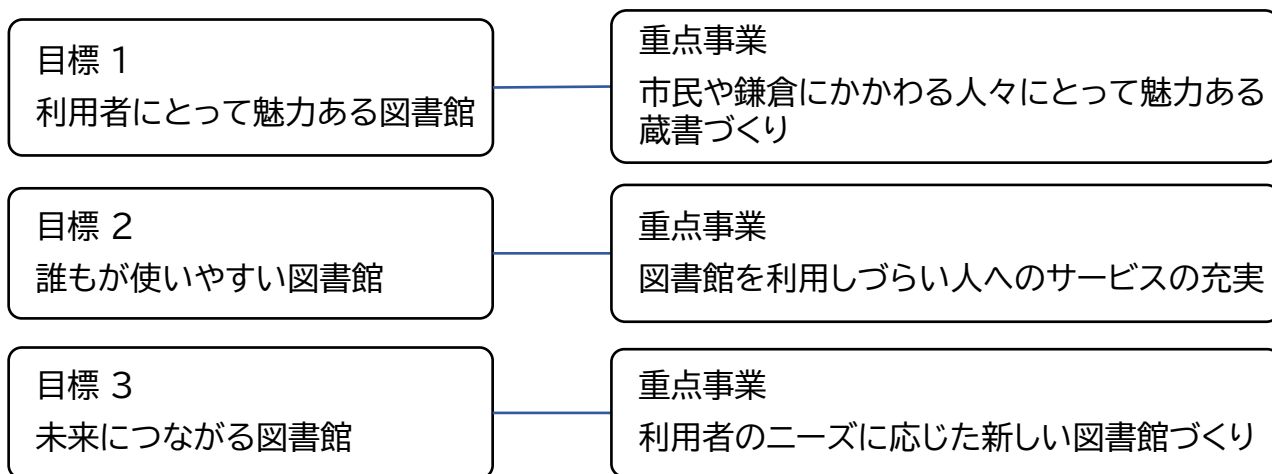
他には多種多様なイベントのアイデアがたくさん寄せられました。新しい図書館の開館が予定されることで、今までとは違ったにぎやかな図書館像への期待が表れているのではないかと考えられます。

※アンケートの詳細は図書館ホームページで公開しています。

<https://lib.city.kamakura.kanagawa.jp/>

2-3 第4次鎌倉市図書館サービス計画の成果と課題

第4次鎌倉市図書館サービス計画では、以下の目標と重点事業を定め、取り組みました。



【成果】

- ・ 中央図書館への Wi-Fi 導入
- ・ 業務システム更新による利便性の向上
- ・ 写真展の開催及び写真集の発売による近代史資料室₂の調査結果の市民への還元
- ・ ジャパンサーチ₃ への参加
- ・ バリアフリー資料₄ の PR と利用の促進

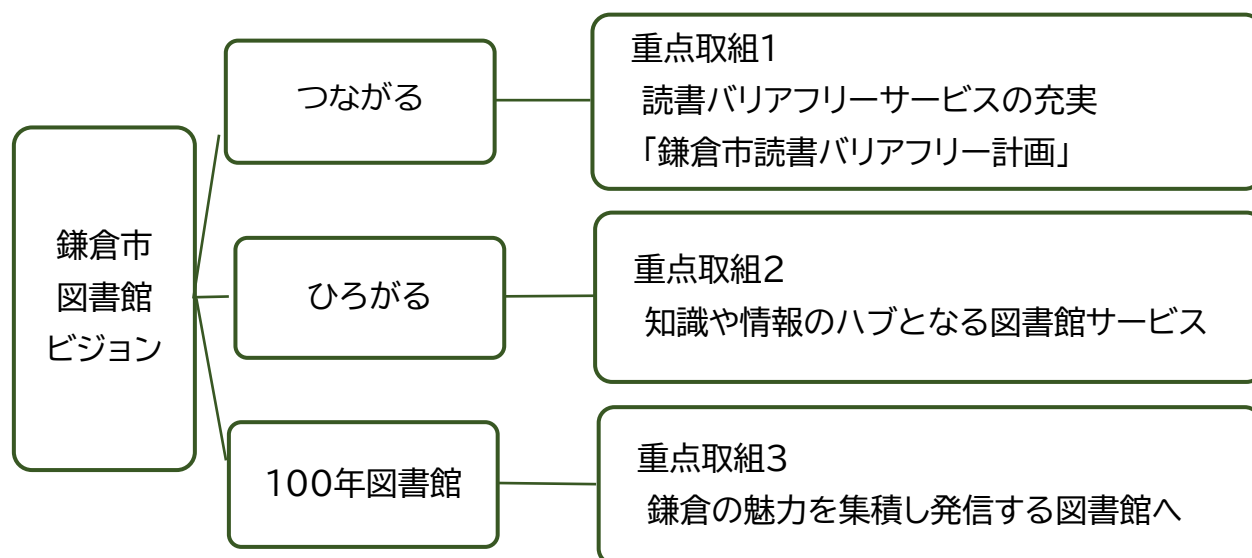
【課題】

- ・ 鎌倉市にふさわしい蔵書構築の研究が中途である。
- ・ バリアフリー資料の収集が十分でない。
- ・ 各種電子サービス等デジタル環境の整備が中途。電子書籍も未導入。
- ・ 新深沢図書館、新中央図書館計画ともに基本設計が止まっており進展がない。

3 第5次鎌倉市図書館サービス計画とアクションプラン

3-1 第5次鎌倉市図書館サービス計画の重点取組

以上を踏まえ、第5次鎌倉市図書館サービス計画の重点取組は以下のとおりとしました。



それぞれの重点取組における具体的な取組をアクションプランにおいて定め、第5次計画を推進していきます。

3-2 アクションプラン具体的な取組

重点取組 1 読書バリアフリーサービスの充実

読書バリアフリー法第5条に「地方公共団体は、第3条の基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する」と規定されています。また、同第8条では、地方公共団体における計画の策定に努めることとされています。鎌倉市の読書バリアフリー計画は、図書館のサービス計画と連携し行っていくため、第5次計画に内包して策定しました。

読書バリアフリー法において対象とされている「視覚障害者等」の他にも、様々な事情から図書館を利用しにくい方がいます。日本語を母語としない、入院等によって外出が難しい、図書館から遠方に住んでいる、図書館開館時間内に来館できない等、図書館利用への障害(バリア)は様々です。鎌倉市の読書バリアフリー計画では、広く図書館を利用しにくい方をサービスの対象としていきます。多様なニーズを把握し、それぞれのバリアを解消することで、誰もが気兼ねなく利用できる図書館を目指し、取り組みを実施していきます。

具体的な取組

1 誰もが利用しやすいバリアフリー資料⁴を充実する

- (1) 大活字本、点字図書、LLブック、朗読CDをはじめとしたバリアフリー資料を毎年継続して購入する
- (2) 英語だけではなく多言語資料や、海外にルーツのある方が日本について知ることができる資料を収集する

2 障害のある方それぞれのニーズに合わせたサービスを検討し拡充する

- (1) 障害当事者や関係団体へのニーズの調査を行う
- (2) 図書館が遠い方、開館時間に利用できない方でも図書館を利用できるよう、電子書籍による非来館型のサービスを拡充する
- (3) 地域館に読書支援機器⁵を設置する
- (4) 多様な人が参加できるイベントを検討し実施する

3 図書館を利用しづらい環境にある利用者へのサービスの PR を強化する

- (1) やさしい日本語や活字の大きな案内を作成
- (2) 動画など、多様な形での PR 方法を検討する

4 読書バリアフリーサービスに精通した人材を育成する

- (1) 読書バリアフリーについて研修を受講する
- (2) 読書支援機器の使用方法を習得する

指標項目	令和 6 年度(2024 年度)	令和 12 年度(2030 年度)
外国語図書数	3,289 点	4,900 点
大活字本・LL ブック所蔵数	2,223 点	2,340 点
手話付きおはなし会開催数	7 回	7 回以上
関係団体へのニーズ調査数	実施なし	5団体

重点取組 2 知識や情報のハブとなるサービスの拡充

- 図書館は、市民の生涯学習、課題解決のために必要な情報を収集し提供できる「いちばんそばの情報センター」です。そのため、市民のニーズや関心を把握し、さらに蔵書を充実させるとともに、それを実現するための職員の技術の向上を図ります。
- デジタル環境を充実することで、いつでもどこでも、図書館がもつ情報を得ることができるようにすると同時に、館内においても紙の資料とデジタルの情報の双方を利用し、より調査・研究を進められる環境を整えます。

具体的な取組

1 生涯学習や日々の暮らしを支援するため、市民のニーズに合った蔵書を充実させる

- (1) これまでの蔵書・利用の分析等を基に、鎌倉市図書館にふさわしい蔵書構築を検討し、蔵書に関する満足度の向上を目指す
- (2) 関係課に呼びかけ、行政資料の網羅的な収集を進める
- (3) 選書・除架⁶・地域資料について、研修を行う
- (4) レファレンス事例の公開やパスファインダー⁷の作成等、書籍以外の形での課題解決のための情報を提供する

2 電子書籍・Wi-Fi の導入、地域資料のデジタルアーカイブ⁸等、デジタル環境の整備により利便性の向上を図る

- (1) 電子書籍の導入
- (2) 地域館に Wi-Fi を導入する
- (3) デジタル環境整備のための予算・財源確保に努める
- (4) 鎌倉市図書館が所有している資料のデジタル化を推進し、公開を進める

指標項目	令和 6 年度(2024 年度)	令和 12 年度(2030 年度)
資料回転率（一点の資料が年間何回貸出されたか）	2.0 回	2.1 回
蔵書新鮮度（図書所蔵数に占める年度内新規購入+寄贈受入数）	4.0%	4.1%
貸出密度（市民一人当たりの貸出点数）	6.4 点	6.5 点
市民登録率	35.5%	36.0%
デジタル化資料の HP トータル公開件数	4,401 件	10,000 件

重点取組 3 鎌倉の魅力を集積し発信する図書館の実現

- 鎌倉市図書館は、鎌倉の歴史を保存し後世に伝えていく場所でもあります。鎌倉の歴史的資料や情報を収集・保存するとともに、発信することで、鎌倉の魅力を伝えていきます。また、これまで蓄積してきた技術を継承し、より充実させていけるよう、図書館司書の育成に取り組めます。
- 誰もがいつでも安心して訪れたい「居場所」になれるよう、既存 5 館の施設環境を整備します。さらに、新施設に複合化される予定の深沢・中央図書館について、複合化の利点を活かし、より多くの目的に合った利用をしてもらえる場となるよう検討を進めます。

具体的な取組

1 鎌倉の地域資料を収集・保存し、デジタル資料の公開やイベントにより情報を発信する

- (1) 図書館基金を活用しながら、鎌倉に関する貴重な資料の収集や補修をし、保存・提供していく
- (2) 各図書館を中心に、それぞれの地域の資料の収集に努める
- (3) 図書館所有の地域資料のデータ化、デジタル化を進める
- (4) 地域資料を活用した展示・講習会等のイベントを行う
- (5) 鎌倉で活動する市民・団体と協働し、成果の発信をしていく

2 誰もが安心して利用できるよう施設環境を整備する

- (1) 居心地の良い環境を作るため、全館の施設環境を見直し、優先順位をつけて計画的に備品の修繕・買い替えを進める
- (2) 施設内のバリアフリー環境を整える
- (3) 災害やトラブルが発生した際の図書館員の対応についてマニュアルを更新する

3 司書の継続的な採用により技術の伝承を図り、人と情報を結ぶ人材を長期的に育成する

- (1) 司書職の継続的な採用を目指し、切れ目なく専門知識を持った職員を配置する
- (2) これまでの知識・技術の蓄積を継承していくため、職員を育成するための計画を推進する

4 新施設における図書館の機能を検討し、関係部署と連携しながらその充実を目指す

- (1) 新施設の動向を把握し、関係部署と連携する
- (2) 新たな図書館に向け、利用しやすい開館日・開館時間を検討する
- (3) 他自治体の施設を見学・研究し、鎌倉市に適した新たな図書館を探る

5 複合施設化や利用者の利便性向上に向けたICタグを導入する

- (1) IC タグの導入

指標項目	令和 6 年度(2024 年)	令和 12 年度(2030 年)
地域資料数	38,036 点	39,500 点
開館日一日当たりの 平均来館者数	2194.1 人	現状維持
司書有資格者(職員)	81%	90%
研修参加延べ職員数	約 370 人／年	現状以上
ジャパンサーチ閲覧数	407 回	500 回

3-3 鎌倉市教育振興基本計画―第5次鎌倉市図書館サービス計画―第5次鎌倉市図書館サービス計画アクションプランの対照表

鎌倉教育振興基本計画		アクションプラン
政策の柱④ 学習者中心の学びを支える環境を整備する		
重点プロジェクト C 地域における生涯学習基盤の整備		
施策う 図書館サービスの維持・向上		= 第5次鎌倉市図書館サービス計画
重点取組1 読書バリアフリーサービスの充実		
実施内容	1 誰もが利用しやすいバリアフリー資料を充実する	具体的な取組 (1)～(2)
	2 障害のある方それぞれのニーズに合わせたサービスを検討し拡充する	(1)～(4)
	3 図書館を利用しづらい環境にある利用者へのサービスのPRを強化する	(1)～(2)
	4 読書バリアフリーサービスに精通した人材を育成する	(1)～(2)
重点取組 2 知識や情報のハブとなるサービスの拡充		
実施内容	1 生涯学習や日々の暮らしを支援するため、市民のニーズに合った蔵書を充実させる	具体的な取組 (1)～(4)
	2 電子書籍・Wi-Fi の導入、地域資料のデジタルアーカイブ等、デジタル環境の整備により利便性の向上を図る	(1)～(4)
重点取組3 鎌倉の魅力を集積し発信する図書館の実現		
実施内容	1 鎌倉の地域資料を収集・保存し、デジタル資料の公開やイベントにより情報を発信する	具体的な取組 (1)～(5)
	2 誰もが安心して利用できるよう施設環境を整備する	(1)～(3)
	3 司書の継続的な採用により技術の伝承を図り、人と情報を結ぶ人材を長期的に育成する	(1)～(2)
	4 新施設における図書館の機能を検討し、関係部署と連携しながらその充実を目指す	(1)～(3)
	5 複合施設化や利用者の利便性向上に向けたICタグを導入する	(1)

4 用語解説

1 視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律

視覚障害、発達障害、肢体不自由その他の障害により、書籍(雑誌、新聞その他の刊行物も含む)について、視覚による表現の認識が困難な者(「視覚障害者等」という)の読書環境の整備を総合的かつ計画的に推進することにより、障害の有無にかかわらずすべての国民が等しく読書を通じて、文字・活字文化の恵沢を享受することができる社会の実現を目的とした法律。

2 近代史資料室

中央図書館内にあり、幕末から昭和初期までの鎌倉に関する、図書資料や博物館的資料を扱っている。資料の保存と活用のため、収集、整理、デジタル化を進めている。

3 ジャパンサーチ

日本国内の、図書館や博物館、美術館といった文化施設などが所蔵する書籍、文化財、メディア芸術などの様々な分野のコンテンツを検索・閲覧・活用できるプラットフォーム。鎌倉市図書館は、令和4(2022)年8月から連携を開始。

4 バリアフリー資料

様々な人が読みやすい、分かりやすいよう作られた資料。大活字本、LLブック、点字つき絵本など。

5 読書支援機器

紙の印刷物を読むことが困難な人の読書をサポートする機器。拡大読書器、音声読書器、リーディングトラッカーなど。

6 除架

情報が古い、汚損・破損がひどい等、不要になった資料を開架の本棚から除くこと。

7 パスファインダー

あるテーマについて調べるときに役立つ資料やツールを紹介した、調べ方案内のリスト。

8 デジタルアーカイブ

文化資産をデジタル映像で保存蓄積するもの。鎌倉市図書館では近代史資料室の古写真や絵図、古地図等を順次デジタル化し、ホームページ上で公開している。

鎌倉市図書館サービス計画アクションプラン

令和 8 年(2026 年)4 月 30 日発行

編集・発行 鎌倉市中央図書館

〒 248-0012

神奈川県鎌倉市御成町 20-35

TEL 0467-25-2611

HP:<https://lib.city.kamakura.kanagawa.jp>

第5次鎌倉市子ども読書活動推進計画 アクションプラン

第5次計画の取組	担当(担い手)
----------	---------

1 豊かな読書環境の整備

1(1)子どもに関わる全ての施設において、子どもにとって魅力ある蔵書を構築

1 市図書館の蔵書内容の充実。子ども向け地域資料の充実	中央図書館
2 学校図書館の収集方針や選定方針を学校内で共有し、蔵書内容を充実させる	学校教育課、小学校、中学校
3 子どもに関わる施設の蔵書の充実	中央図書館、子どもに関わる施設
4 子どもにとって魅力のある蔵書構築についての学びの場を創出	中央図書館、子どもに関わる施設

1(2)子どもと本や情報をつなぐ人を適正に配置

1 図書館司書・学校司書・司書教諭の専門性の向上と継承	中央図書館、学校教育課、小学校、中学校
2 おはなしボランティア養成講座や、ステップアップ講座を開催し、ボランティアのスキルアップの場を設ける	中央図書館
3 「子どもほんしえるじゅ」キャラクター「かますけ」を活用し、フロアワークやレファレンスを行い、尋ねやすい雰囲気づくりと、かまくら読書活動支援センターの存在をアピールする	中央図書館

1(3)乳幼児期から本に親しむ機会を提供(ブックスタートやおはなし会など)

1 対象年齢にあわせた特性の研究	中央図書館
2 関連課と連携して、ブックスタート事業の実施	中央図書館、子どもみらい課、子ども家庭相談課
3 こどもの年齢別おはなし会(定例)の実施	中央図書館
4 こどもの対象年齢に応じた、読書や図書館に親しむ特別な行事の実施	中央図書館
5 ヤングアダルト対象の行事の実施	中央図書館
6 各施設による読み聞かせなどの実施	子どもに関わる施設
7 多世代交流ができる場の提供	中央図書館、子どもに関わる施設

1(4)こどもの読書にかかわる情報の収集と発信

1	かまくら読書活動推進センターでこどもの読書に関わる情報を収集し、互いに蔵書内容・イベント・事業などの参考にする	中央図書館、こどもに関わる施設
2	図書館のサービス内容をもっとアピールする工夫	中央図書館
3	「どくしょのノート」(読んだ本を記入していく冊子)のホームページ掲載・配付	中央図書館
4	おすすめの本のリストの配付	中央図書館

1(5)こどもと本や情報をつなぐ人と連携して、豊かな読書環境の整備を行う

1	「鎌倉市子ども読書活動推進計画に関する連絡会議」の委員を通して、こどもに関わる施設との連携を深める	中央図書館
---	---	-------

2 読書バリアフリーの推進

2(1)誰もが本を読めるようにする読書バリアフリーを広く知るための取組を実施

1	読書バリアフリーの考え方を広く知り、広く伝えるための取組を実施	中央図書館
2	バリアフリーおはなし会(手話付きおはなし会、世界のおはなし会など)を継続して開催する	中央図書館
3	「バリアフリー図書パック」を作成し、学校等へ貸出する	中央図書館、学校教育課、小学校、中学校
4	バリアフリー資料を活用した展示や行事の実施	中央図書館、小学校、中学校
5	図書館を利用しづらいこどもたちや、こどもたちが関わる施設へのニーズ調査	中央図書館
6	入院中のこどもたちを含む医療ケア児等へのサービスの研究	中央図書館

2(2)海外にルーツのある子どもたちへサービスを提供

1	多言語絵本の充実	中央図書館
2	ブックスタートでの多言語絵本の配付	中央図書館、こどもみらい課、こども家庭相談課
3	支援団体と連携し、ニーズの把握に務め、サービスを検討	中央図書館

2(3)読書バリアフリー資料の充実、電子書籍の導入を検討

1	読書バリアフリー資料の充実	中央図書館
2	電子書籍の導入を検討	中央図書館

3 情報活用スキルの向上とメディアリテラシーの醸成**3(1)こどもたち自身が紙とデジタル資料を使って、学習ができるようサポート**

1	学校図書館の活用、カリキュラムの研究・実践により、情報を活用するスキルの向上を目指す	中央図書館、学校教育課、小学校、中学校
2	メディアリテラシーの醸成を目指し、様々な媒体の使い方や、利用方法を伝える	中央図書館、学校教育課、小学校、中学校

3(2)こどもの居場所となる施設のWi-Fi環境を整備

1	こどもの情報を知る権利を格差なく保証するために、Wi-Fi環境の整備をおこなっていく	中央図書館、こどもに関わる施設
---	--	-----------------

3(3)こどもに関わる大人を対象とした情報活用学習のための研修を実施

1	メディアリテラシー研修など、情報活用学習のための研修を実施する	中央図書館、学校教育課、小学校、中学校
---	---------------------------------	---------------------

4 こどもに関わる施設や団体と連携した読書活動支援**4(1)ビブリオバトルなど中高生が読書に関する情報を自ら発信する場づくりを実施**

1	こどもたちが、ビブリオバトルや、職場体験などを通して、自ら発信できる場の充実を図る	中央図書館、中学校、高等学校
---	---	----------------

4(2)より利用しやすい学校図書館を整備(開館時間の拡大や展示の工夫など)

1	学校図書館で、こどもが本を手に取りやすいように本のフェイスアウト等見せ方を工夫し、本や図書館に興味をもてるようにする	小学校、中学校
2	学校図書館を放課後にも利用できるように開館時間を検討する	学校教育課、小学校、中学校

4(3)こどもに関わる施設や団体との交流を通して、読書環境を充実

1	「本の海サポーターズ交流会」など、おはなしボランティアや保護者・保護者の団体との情報交換の場を設ける	中央図書館
---	--	-------

2	乳幼児のニーズの把握につとめ、こどもたちへの図書館利用を促す取り組みを行う	中央図書館、幼稚園、保育園、認定こども園、子育て支援センター
3	市図書館が学校(小中高)図書館への訪問を通し、情報交換や交流をはかる	中央図書館、小学校、中学校、高等学校
4	市図書館と放課後かまくらっ子や、フリースクールなどの施設との連携	中央図書館、青少年課、放課後かまくらっ子、こどもに関わる施設
5	本の選書のサポートを兼ねた学校貸出(搬送先は学校以外の施設も含む)の継続実施	中央図書館、学校教育課、小学校、中学校、こどもに関わる施設
6	図書館見学・職場体験などを通して、こどもたちが図書館に親しむ機会を提供	中央図書館、小学校、中学校、こどもに関わる施設
7	地域の宝物を生かし、鎌倉を楽しむを取組を実施。地元著者・出版社・書店との連携もすすめる。	中央図書館

4(4)図書館を利用しづらい子どもたちのニーズに合わせたサービス検討(出張おはなし会や図書館見学など)

1	特別支援学校や障害児施設へサービスを検討し、訪問サービス(出張おはなし会)や図書館見学を実施	中央図書館、こどもに関わる施設
---	--	-----------------

5 こどもの居場所としての図書館の整備・サービスの検討

5(1)ゾーニング(図書館内の動線や区分けなどレイアウトの工夫)についての研修を実施

1	ゾーニング(図書館内の動線の区分けなどレイアウトの工夫)についての研修を実施	中央図書館
2	利用しやすい図書館、にぎやかな図書館について検討する	中央図書館

5(2)こどもの居場所の在り方の検討

1	こどもたちの居場所としてこどもたちが何の目的もなく来館し、自由に本を選び、くつろげる空間とサービスを継続して提供するとともに、さらなる充実を検討する	中央図書館
---	--	-------

5(3)こどもたちのニーズの反映

1	こどもたちが主体的に図書館に関われるための受け皿を研究し、ニーズの反映につなげる	中央図書館
---	--	-------

※担当(担い手)として、「こどもに関わる施設」として、記載のあるものは施設を統括する
保育・幼稚園課、学校教育課、青少年課、こどもみらい課、発達支援室等を含む。

2026/5/15作成

鎌倉市図書館 基本統計表 令和7年度(2025年度) 利用統計

		中央	腰越	深沢	大船	玉縄	(WEB)	全館	2024年度	前年度比
開館日		302	304	303	304	304	365	1,517	1,478	39
登録者	①総数	18,085	6,358	7,384	12,190	6,893		50,910	68,704	-17,794
	②うち市内在住者	15,908	5,655	7,035	10,371	6,157		45,126	61,049	-15,923
	①のうち年度内利用	8,355	2,936	3,624	5,602	3,330		23,847	23,700	147
	②のうち年度内利用	7,599	2,643	3,432	4,999	3,031		21,704	21,635	69
新規登録者		1,141	418	436	913	402		3,310	3,231	79
来館者		183,235	110,489	123,989	164,233	99,590		681,536	648,275	33,261
1日あたりの来館者数		606.7	363.5	409.2	540.2	327.6		2,247	2,194	53
(貸出利用人数)		115,335	57,125	66,719	99,597	58,190		396,966	394,073	2,893
貸出 (更新含)	図書	316,442	180,220	209,656	286,445	192,077		1,184,840	1,181,645	3,195
	雑誌	14,151	9,992	7,811	11,120	6,502		49,576	50,354	-778
	AV	6,570	2,365	2,957	6,241	2,048		20,181	23,185	-3,004
	貸出合計	337,163	192,577	220,424	303,806	200,627		1,254,597	1,255,184	-587
予約受付	窓口	18,120	8,522	8,738	10,794	10,410		56,584	60,879	-4,295
	各館OPAC	24,078	0	0	0	0		24,078	23,350	728
	WEB						163,878	163,878	275,765	-111,887
	スマホ						157,546	157,546	50,183	107,363
	予約受付合計	42,198	8,522	8,738	10,794	10,410	321,424	402,086	410,177	-8,091
WEB, OPACリクエスト							23,603	23,603	22,044	1,559
レファレンス受付		18,712	11,489	12,676	15,434	12,285	(内OPAC 58)	70,596	75,951	-5,355
文献複写枚数		27,495	1,619	2,880	2,724	2,000		36,718	38,404	-1,686
相互貸借	借受	4,237	1,233	1,737	2,701	1,858		11,766	12,556	-790
	貸出 (女子大・県外中央一括、県内玉縄一括)	28	0	0	0	6,441		6,469	5,886	583

【令和6年度(2024年度)との比較 特記事項】

* 開館日あたりの来館者数は微増している。

* 登録者数が、17,794人減少したのは、次の理由による。

(1)2020年12月31日以前に利用登録し、以降5年以上貸出のない利用者を長期未利用者に移行した。

(2)2015年12月31日までに登録し、以降10年以上貸出利用のない利用者、及び、市外転出等の理由で利用を終了している方を除籍した。

* 2025年3月のシステム更新以降、各館OPACの予約数が中央図書館に集約された。

また、スマホ利用者はスマホOPAC がデフォルトになったため、スマホ予約の利用数が増えた。

* 東アジア文化都市連携事業で、外国語図書を約1,000冊ほど、購入したため、購入冊数が増加している。

* 除籍からの復活や移管があるため、令和5年度末蔵書数+6年度受入数-6年度除籍数=6年度末蔵書数とはならない。

2026/5/15作成

鎌倉市図書館 基本統計表 令和7年度(2025年度) 蔵書統計

		中央	腰越	深沢	大船	玉縄	学校貸出	近代史	全館	2024年度
購入	図書(一般)	2,081	1,144	1,358	1,331	1,421	0	0	7,335	6,684
	図書(児童)	817	626	744	751	659	97	0	3,694	3,297
	図書(参考)	134	12	34	7	12	0	0	199	203
	図書(郷土)	78	0	2	1	1	0	14	96	115
	図書計	3,110	1,782	2,138	2,090	2,093	97	14	11,324	10,299
	雑誌	1,450	922	735	741	642	0	0	4,490	4,808
	AV	6	3	0	3	0	0	0	12	26
	購入計	4,566	2,707	2,873	2,834	2,735	97	14	15,826	15,133
寄贈 その他	図書(一般)	2,338	959	571	633	837	0	0	5,338	6,842
	図書(児童)	623	196	358	113	295	8	0	1,593	2,016
	図書(参考)	25	1	5	0	1	0	0	32	50
	図書(郷土)	334	54	31	19	37	0	0	475	541
	図書計	3,320	1,210	965	765	1,170	8	0	7,438	9,449
	雑誌	199	130	69	35	101	0	0	534	694
	AV	79	21	14	13	8	0	0	135	322
	寄贈計	3,598	1,361	1,048	813	1,279	8	0	8,107	10,465
受入計	図書	6,430	2,992	3,103	2,855	3,263	105	14	18,762	19,748
	雑誌	1,649	1,052	804	776	743	0	0	5,024	5,502
	AV	85	24	14	16	8	0	0	147	348
	受入計	8,164	4,068	3,921	3,647	4,014	105	14	23,933	25,598
除籍	図書	7,213	2,105	2,807	2,200	2,650	100	11	17,086	22,446
	雑誌	1,611	1,572	883	890	826	0	0	5,782	5,127
	AV	587	11	12	24	23	0	0	657	1,579
	除籍計	9,411	3,688	3,702	3,114	3,499	100	11	23,525	29,152
蔵書数 (2026.3.31)	図書	267,213	68,350	89,422	61,359	71,680	9,885	680	568,589	567,667
	雑誌	3,081	41,134	1,924	1,499	1,443	0	0	49,081	49,450
	AV	12,047	1,182	1,129	1,676	1,270	0	0	17,304	19,134
	和漢籍	131	0	0	0	0	0	3,570	3,701	3,785
	蔵書計	282,472	110,666	92,475	64,534	74,393	9,885	4,250	638,675	640,036
蔵書数 (2025.3.31)	図書	267,322	67,483	88,798	60,694	71,084	9,874	674	565,929	
	雑誌	3,257	41,324	2,033	1,640	1,567	0	0	49,821	
	AV	12,547	1,169	1,126	1,683	1,285	0	0	17,810	
	和漢籍	128	0	0	0	0	0	3,569	3,697	
	蔵書計	283,254	109,976	91,957	64,017	73,936	9,874	4,243	637,257	
年度増減	図書	-109	867	624	665	596	11	6	2,660	1,580
	雑誌	-176	-190	-109	-141	-124	0	0	-740	538
	AV	-500	13	3	-7	-15	0	0	-506	56
	和漢籍	3	0	0	0	0	0	1	4	1
	蔵書計	-782	690	518	517	457	11	7	1,418	2,175

令和7年度(2025年度)雑誌・新聞タイトル数実績

全館計と比較

	中央	腰越	深沢	大船	玉縄	全館計	純タイトル数	2024年度	前年度比
雑誌数(うち購入)	151(130)	77(66)	68(62)	65(58)	73(63)	434(379)	282(250)	461(395)	-27(-16)
新聞数(うち購入)	42(12)	22(9)	24(10)	24(9)	25(9)	137(49)	52(19)	131(48)	-6(-1)

2022 2023 2024 2025 2026 2027 2028 2029 2030 2031 2032 (単位: 点)

新深沢

新中央

		4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度		収容冊数イメージ
中央	開架	110,780	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	...	120,000
	閉架	177,974	180,974	183,974	186,974	189,974	192,974	195,974	199,974	203,974	207,974	211,974	...	550,000
	計	288,754	290,974	293,974	296,974	299,974	302,974	305,974	309,974	313,974	317,974	321,974	...	670,000
深沢	開架	75,132	74,132	73,132	72,132	71,132	70,132	71,132	72,132	73,132	74,132	75,132	...	80,000
	閉架	27,027	25,027	23,027	21,027	19,027	17,027	15,027	13,027	13,127	13,227	13,327	...	14,000
	計	102,159	99,159	96,159	93,159	90,159	87,159	86,159	85,159	86,259	87,359	88,459	...	94,000
腰越	開架	69,043	69,143	69,243	69,343	69,443	69,543	69,643	69,743	69,843	69,943	70,000	...	70,000
	閉架	41,485	41,985	42,485	42,985	43,485	43,985	44,485	44,985	45,485	45,985	50,000	...	1,000
	計	110,528	111,128	111,728	112,328	112,928	113,528	114,128	114,728	115,328	115,928	120,000	...	71,000
大船	開架	63,464	62,964	62,464	61,964	61,464	60,964	60,464	60,000	60,000	60,000	60,000	...	60,000
	閉架	2,387	2,000	1,800	1,700	1,600	1,500	1,400	1,300	1,200	1,100	1,000	...	1,000
	計	65,851	64,964	64,264	63,664	63,064	62,464	61,864	61,300	61,200	61,100	61,000	...	61,000
玉縄	開架	70,565	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	70,000	...	70,000
	閉架	2,526	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	...	2,000
	計	73,091	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	...	72,000
全館合計		640,383	638,225	638,125	638,125	638,125	638,125	640,125	643,161	648,761	654,361	663,433		968,000

保存雑誌を中央へ移管

電子書籍の導入	0	0	0	500	1,000	600	1,100	700	1,200	800	1,300		2,000
---------	---	---	---	-----	-------	-----	-------	-----	-------	-----	-------	--	-------

受入 (購入)	16,657	17,000	17,000	17,000	17,000	17,000	18,000	19,000	19,000	19,000	19,000
受入 (寄贈)	8,600	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000
除籍	-23,432	-27,158	-25,100	-25,000	-25,000	-25,000	-24,000	-23,964	-21,400	-21,400	-17,928
増減	1,825	-2,158	-100	0	0	0	2,000	3,036	5,600	5,600	9,072

補足説明 課題等

- ・全館の蔵書数は80万点を基準にする。(収容点数はそれよりも少し多くしている。)
- ・新深沢図書館の書庫は腰越の4分の1程度の大きさ、収容するのは、児童書・子ども読書・学校貸出を想定。
- ・深沢図書館はR5年度から9年度まで、毎年開架1,000点減、閉架2,000点減(閉架はR11年度まで)
- ・新深沢、新中央開館に向け通常の資料とは別に●点購入(2,500円/点×●点=▲万円の資料費増額を想定)

どのような資料をどのくらい購入するのか? 一括? 分割?

中央、深沢ともに具体的な購入計画が必要。

表では新深沢開館の2年前から 毎年1,000点ずつ購入していくイメージ

オンラインデータベースをどこまで増やすか計画の必要。

- ・日本総研の維持管理費資料では、資料購入費は2,600万円で算出している(現行の鎌倉市図書館全体の資料費-100万円)
- ・腰越地下書庫、永年保存雑誌増加分(500点/年)
- ・電子書籍は現実的な数でカウントしている。2年契約のコンテンツが多いため2年ごとに増減を繰り返し、買い切り等で増えた分を上乗せ。
- ・電子書籍に切り替える資料のうち、辞典類など毎年購入するものではなく、また、白書や年鑑等は数10冊程度しか購入しておらず、紙の資料の購入減にすぐ結びつかない。
ただし、内容は刷新されていくので、最新の情報にアクセスできるメリットがある。
- ・深沢や地域館の蔵書を減らすためには、中央の書庫への移管が増える想定であるが、現在でも収容点数を超過している中、移転までの間、保存場所を検討する必要があるか。